

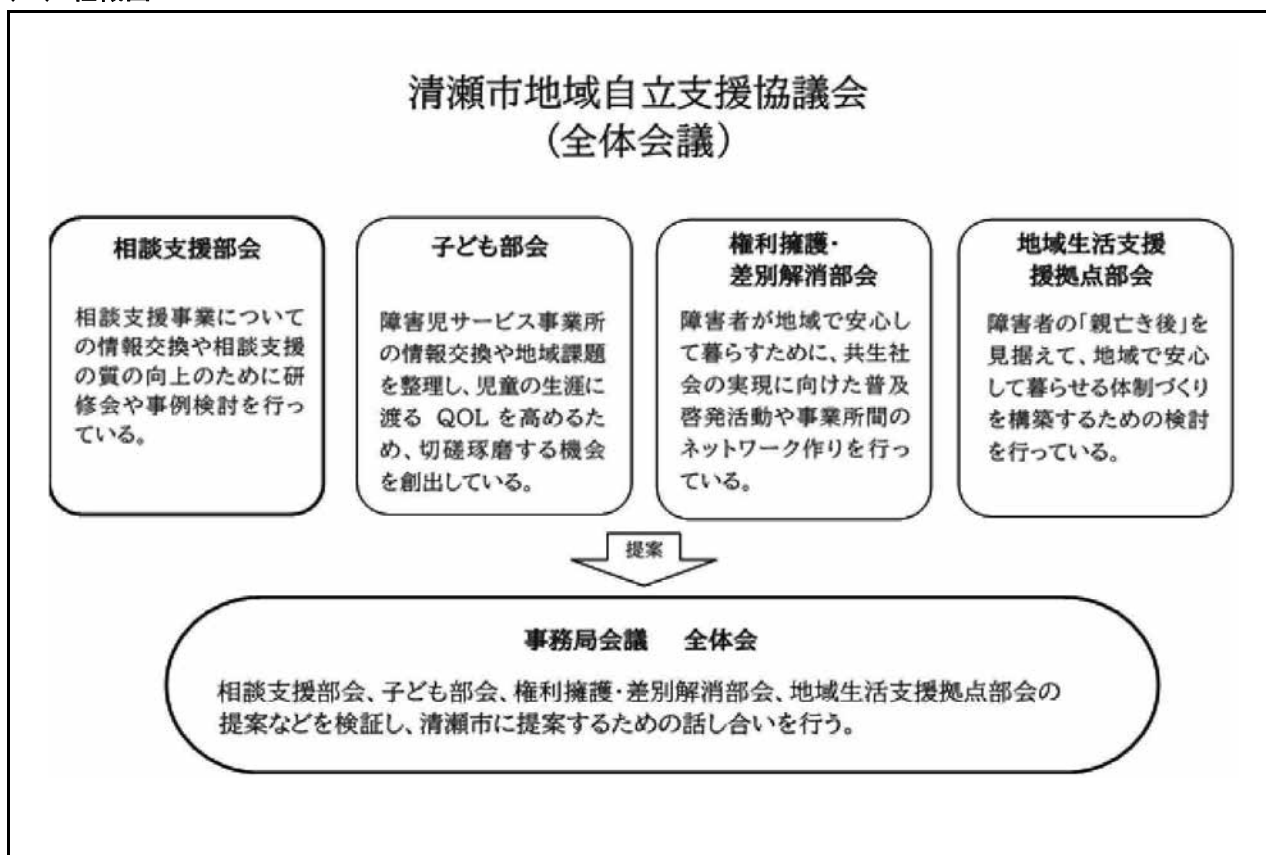
清瀬市

1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 清瀬市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.kivose.lg.jp/siseijouhou/keikakusisaku/iinkaikentoukaigi/1012516/index.html>

(3) 組織図



2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経歴年数
1	会長	賛川 信幸	日本社会事業大学	学識経験者		3年
2	副会長	富永 健太郎	社会福祉法人 清瀬わかば会	障害福祉サービス等事業者		長期
3		浅野 穂高	社会福祉法人 まりも会	障害福祉サービス等事業者		3年
4		岩澤 寿美子	清瀬市子どもの発達支援・交流センター	障害福祉サービス等事業者		長期
5		菊間 英子	清瀬市知的障害者相談員	身体・知的障害者相談員		長期
6		熊谷 大	社会福祉法人 椎の木会	障害福祉サービス等事業者		4年
7		下田 一紀	社会福祉法人 東京都手をつなぐ育成会	障害福祉サービス等事業者		1年
8		三澤 愛子	東京都多摩小平保健所	保健所		1年
9		長嶋 潤	視覚障害者団体グループあかり	障害当事者		4年
10		稗田 知子	都立清瀬特別支援学校	教育関係機関		2年
11		森田 憲英	社会福祉法人 清瀬市社会福祉協議会	障害福祉サービス等事業者		2年
12		渡邊 公裕	社会福祉法人 聖ヨハネ会	障害福祉サービス等事業者		1年
13		山崎 昭浩	清瀬市障害者就労支援センター	障害福祉サービス等事業者		長期

(2) 委員構成

種別	全体会・ 部会名	全体会	権利擁護・差別 解消部会	地域生活支援 拠点部会	相談支援 部会	子ども部会
学識経験者		1	1			
医療関係者		0				
保健所		1				
教育関係機関		1				1
雇用関係機関		0				
企業		0				
障害当事者		1				
ピアサポーター		0				
家族・関係団体		0	1			
身体・知的障害者相談員		1	1	6	6	2
相談支援事業者		0		6	4	11
障害福祉サービス等事業者		8	3	1	1	
社会福祉協議会		0				
法曹関係者		0				
民生委員・児童委員		0				
地域住民		0				
行政職員(区市町村)		0				
行政職員(都)		0				
その他		0				
計		13	6	13	11	14

3 地域自立支援協議会の活動状況

(1) 地域自立支援協議会での協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること。

相談支援部会において、相談支援専門員個人の現状、相談支援専門員の業務負荷、現場の課題、基幹相談支援センターに求める機能の4つについて事前アンケートを実施し、市内相談支援事業所の現状把握を実施した。その結果を地域自立支援協議会にも報告し、情報共有を行うとともに継続検討を実施している。

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること。

各専門部会において、市内事業所間の情報収集の場の提供やネットワークの構築に繋がる役割を担っている。また、活動内容については地域自立支援協議会にも共有し、地域支援に繋がる協議を実施した。

⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

虐待防止研修会の協議や開催、また市民啓発への取り組みを協議した。また、市内事業所の差別解消解消・虐待防止に資するための協議も行った。

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること。

面的整備の活動報告や重点事項の具体的な取組状況、事業所間交流や課題の抽出、人材育成に繋がる取組について、幅広い協議を行った。

⑭ その他（日中サービス支援型グループホームの報告）

日中サービス支援型グループホームの年間計画及び活動内容の報告を受け、サービスの質の把握や共有課題、地域生活の推進状況等、支援体制をより良くするための協議、助言を行った。

⑭ その他（基幹相談支援センターの設置に向けた協議）

相談支援部会を中心に事業所間での課題抽出を行い、吸い上げられた内容を元に協議した。

(2) 地域自立支援協議会としての役割（複数回答）

① 情報の顕在化

地域課題や取組に対する情報を視覚化することで、顕在化を図ることができている。

② 情報共有・情報発信

支援の質の向上や地域課題について、関係機関同士で情報共有し、それをもとに課題への取組方や社会資源に関する情報を整理し、発信している。

③ 分野を越えてのネットワークの構築

医療、福祉、就労といった関係機関が連携し、支援ネットワークを構築する場となっている。

④ 各分野の社会資源の共有化及び整合性の確認

各部会から吸い上げられた課題とそれに必要な社会資源について、支援の過不足を確認しながら効果的な支援体制の構築を図っている。

⑤ 地域課題の整理

各部会から抽出された課題を地域における課題として整理した。

⑥ 課題解決に向けての検討

整理した課題について、解決に向けた方策の検討を行い、市への提案や予算計上に向けた取組を行った。

⑩ 権利擁護・虐待防止

地域自立支援協議会主催の虐待防止研修を、権利擁護差別解消部会が中心となって実施した。

(3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

① 相談支援の質及び量

相談支援部会にて実施したアンケート結果を踏まえ、相談支援の課題を整理し、改善に向けた取組を実施した。

③ 権利擁護・虐待防止

権利擁護・差別解消部会と協働にて虐待防止研修を実施し、市内事業所への啓発を実施した。

⑤ 緊急時に備えた体制づくり

地域生活支援拠点部会にて体制整備を実施し、取組状況を協議した。

⑥ 障害児支援

子ども部会からの課題を整理し、必要な社会資源に関する情報共有や今後の取組について協議した。

⑬ 災害等対応

子ども部会にて、防災に関する基礎知識の習得を図るための勉強会を実施し、協議会においても災害時の対応について協議した。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑭ 福祉人材(マンパワー)の確保

事業所の人材確保及び質や専門性の向上。

4 地域自立支援協議会の活性化

(1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等(複数回答)

④ 地域課題の抽出を促進するため、地域の相談支援事業者等が参画する機会を増やした。

地域課題について協議会数を増やし、参画する機会を増やししながら協議した。

⑤ 地域の相談支援事業者等から上がってきた事案を、協議会で地域課題として取り上げた。

相談支援部会にて実施したアンケート結果を踏まえ、相談支援の課題を整理し、改善に向けた取組を実施した。

(2) 地域で生活する当事者の声の反映(複数回答)

⑧ その他(当事者である協議会委員の声の反映)

当事者委員より上げられた課題について協議する場を設けた。

(3) ICTの活用(複数回答)

② 会議録作成等に、音声認識による文字起こしツールを活用

AI音声認識システムを利用し文字起こしを行っている。

⑧ 調査・アンケート等でWeb回答できるフォームを用意

研修会やアンケートをWeb回答できるよう実施した。

(4) 地域自立支援協議会の活動テーマ等

各部会から抽出された課題を整理し、必要なサービスの確保や人材育成等について検証していく。

5 相談支援体制の拡充【新規】

(1) 相談支援体制を推進するための取組(複数回答)

③ 計画作成だけでなく、サービスにつながっていない人への相談や、障害当事者の悩みや困りごとに寄り添う対応を行える窓口等がある。

基幹相談支援センターが未設置であるため、障害福祉課が窓口となり同様の対応を行っている。